

2016年11月通常会議 副市長選任にあたっての討論

2016年12月21日

杉浦 智子

私は日本共産党大津市会議員団を代表して、議案第 247 号 副市長の選任（鷺見徳彦氏）について、賛成の立場で討論します。

私たち日本共産党市会議員団は、これまでから副市長 2 人体制を求めて参りましたし、とりわけ、長年大津市政の流れに通じ、市民生活の実態をよく知る人物の登用が望ましいのではないかとの提案も行ってきました。この点からも今般の鷺見氏の選任に期待をするものです。

また質疑の中でも述べましたように、市役所内の職場環境は、決して良好な状況とは言えないと感じますし、さらには山積する行政課題は待ったなしの案件も増えています。市民の暮らしも安定という言葉にはほど遠く、いかにして市民生活を支えていくのか、市政運営のあり方が問われています。こうしたことから鷺見氏の福祉分野での経歴が活かされることは大切なことだと思います。そしてその豊かな行政経験を活かしていただき、職員と市長をつなぐパイプ役としての役割を果たしていただけるものと大きく期待しております。

市長におかれましては、2 人の副市長・職員とともに一体となって、市民福祉の向上という自治体の最大の役割を果たすべく、互いの意思疎通、情報共有に努め、信頼関係を強めて、風通しのよい職場づくりにご努力いただきたいと願うものです。新たな体制で、市民との協働を大切にしながら、より広範な市民の願いに応えられる市政運営に取り組まれることを求めて賛成討論とします。